

消費者インタビューを行いました

(2) 名古屋

- 日時：2012年11月10日（土）
- 会場：名古屋市伏見ライフプラザ 11F 活動ルーム
- 参加者：NACS 中部会員 4名

地球温暖化に対して：そう思う 2/4、わからない 2/4

石油枯渇：そう思う 2/4、わからない 2/4

<地域の特徴>

- ・道路が広く車線も多いので、運転中つい加速して追い抜こうとしてしまう、また、スタートダッシュで先頭に立とうとしてアクセルを踏み込んでしまうこともある。ただし、その分、普段の運転では、常にエコドライブに心がけている
- ・エコドライブの例として、窓を開けて走れる場所や季節では、なるべくエアコンをかけずに運転するようにしている。また、重い荷物も載せずに走るようにしている
- ・名古屋から少し郊外に行くと、まだ気密性の低い古い住宅も多い。その場合、冬はとても冷えるので、各部屋に石油ストーブを置いて使っている。すきま風もあるので、直接温まる石油ストーブが一番である

<石油ストーブを使わなくなった理由>

- ・なんといっても機器が大きい。狭い部屋では場所を取るので、床に置く暖房は使わない
- ・以前は使っていたのだが、一度使わなくなると灯油を入れる手間が面倒で、再び使おうとは思わない
- ・給油をするのに重いし、一度手に臭いがつく料理をするのも大変だから

<その他、疑問点や意見>

- ・灯油の価格が上がったので、なるべく使わないようにしているが、古い家の場合、灯油を使って暖房するのが一番効率的に暖められるように思う
- ・火災の危険があるのと、場所をとるので石油ストーブは使わなくなった